資料２

岩手県の復興計画の進行管理について

○基本的な考え方

復興計画の進行管理については、迅速な復興を達成するため、計画のマネジメントサイクルに基づき、県が行う施策、事業の実施状況や進捗について明らかにし、計画の実効性を高め、その着実な推進を図るとともに、次に実施する取組につなげていく。

（１）県民意識

・　被災者一人ひとりに寄り添う「人間本位の復興」の観点から、被災者の状況、復興に関する意識、行動等を把握するための調査を継続的に実施する。**【資料３】**

・　また、被災地域において復興の動きを観察できる立場にある人々の協力を得て、地域ごとの復興の動向を把握する。**【資料４】**

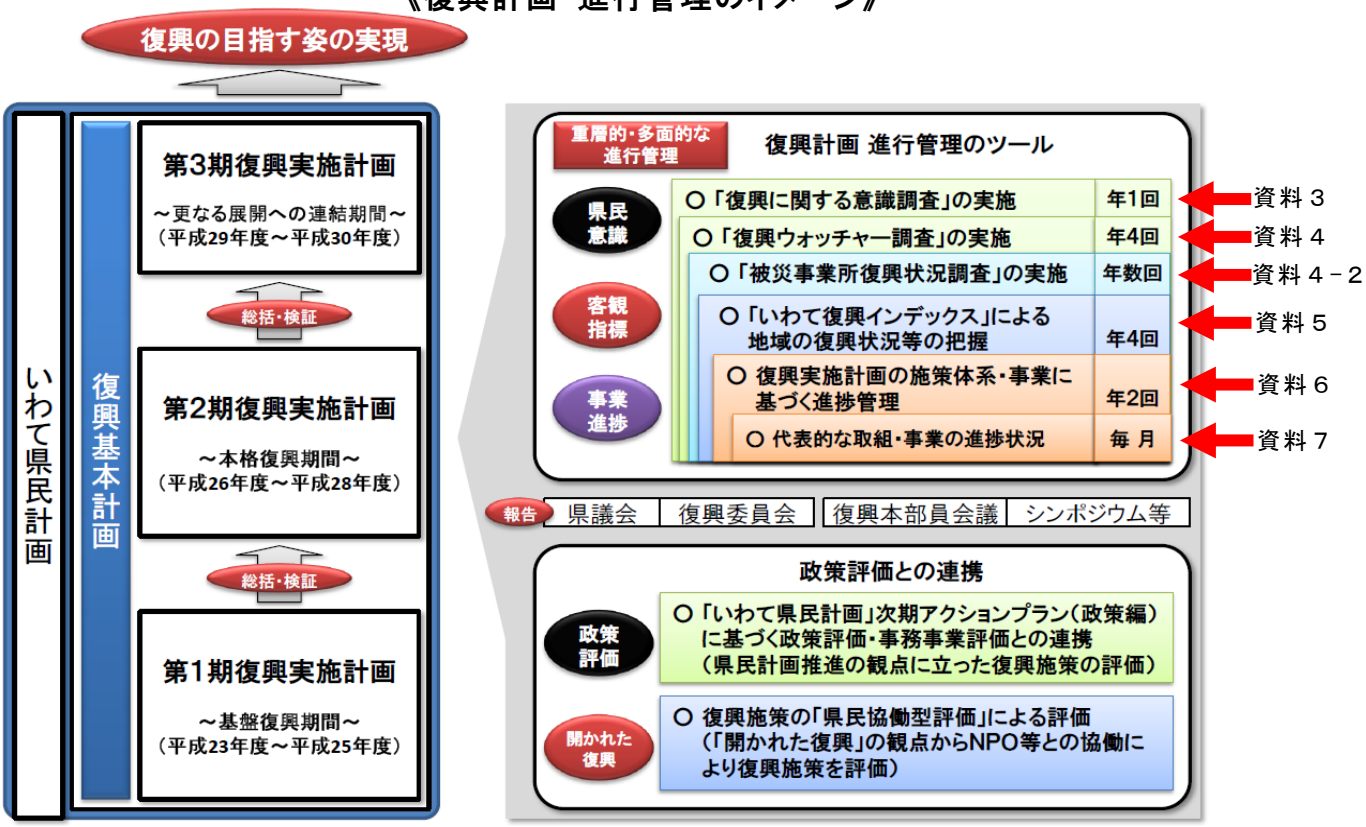
（２）基礎データ、客観指標

・　地域毎の人口動態や商工業指標などの客観データを活用し、被災後の復旧・復興状況の推移等を把握する。**【資料５】**

（３）施策・事業の進捗管理

・　計画の進行管理に当たって、「復興に向けた３つの原則」である「『安全』の確保」、「『暮らし』の再建」及び「『なりわい』の再生」の観点から、計画に盛り込んだ施策分野、取組項目及び構成事業の進捗状況を明示する。**【資料６・７】**

（４）政策評価との連携

・　今後策定される「いわて県民計画」の次期アクションプラン（政策編）の各政策項目に復興に係る取組等が盛り込まれることを踏まえ、政策評価とも十分に連携するとともに、「開かれた復興」の観点から、ＮＰＯ等の参画により協働で施策等を評価する「県民協働型評価」の仕組みを活用する。

《復興計画　進行管理のイメージ》